

令和３年度学校関係者意見書

① 確かな学力の定着

○コロナ禍で読書の時間が増えたのではと思っていたのですが、結果は逆でした。読み語りの中止も、読書意欲に影響があったのでしょうか。

○「けてぶれふ」や全校テスト「ひび笑チャレンジ」など学力の定着に有効な取り組みだと思いました。

○他の先生の授業を参考にするのは色々な意味でいいことだと思うので「先生用の机」もおもしろいと思いました。

○「計画を立てる力、分析、振り返り」ととてもいい取り組みだと思います。

○読書については、もう少し評価を上げる必要がある。

○児童にとって分かりやすく楽しく勉強ができている様子が見て取れるのでよいと思います。

○児童のことを考え、頑張ってくださっている。

○限られた人数と時間の中で、大変だとは思いますが、評価の低かった課題に取り組みをお願いします

○先生用の机を教室に用意しているのは良いと思いました。子どもの目線になって授業が見られると思います。

○児童アンケートが全て９０％を超えているのはすごいことだと思います。

○「おさらい会」「ひび笑チャレンジ」「けてぶれふ」など目標に向かってチャレンジに取り組んでいる。

○研修を日々の授業に生かすよう、継続してほしい。

○学びの質向上をめざして、先生方が校内研修に取り組んだり、お互いの日々の授業を気軽に見合ったりして日常的に自分の授業に取り組んでいく姿勢がすばらしと思います。

○全校テスト「ひび笑チャレンジ」や６年生が全校に発信した「けてぶれふ」の取り組みは、子どもたちのやる気を大いに盛り上げていると思います。

○「進んで読書をしている」は、児童・保護者・職員ともに他の項目よりやや低いように思います。読書は学力だけでなく、豊かな心や人間性の育成にも影響してくるので、楽しく読書できるように取り組んでいただけたらと思います。

② 豊かな心の育成

○「夢や目標に向かってがんばっている」が例年より低下。社会状況から子どもたちのモチベーションが下がるのもやむを得ないことです。そんな中でも、先生や子どもたちがいろいろ考え工夫している姿がすばらしいです。

○とてもいい取り組みだと感じました。学校での習慣が家庭内含め私生活でのポジティブな考え方につながるのではと思いました。

○「スマイルカード」や「褒め言葉のシャワー」は、友達のいい面を見つけようとする
ことで、自己の言動を見直すこともでき、人間性を高めていくことができるのではと思
いました。褒められた子どもも、自分のこういった言動が他者から高く評価されている
か知ることができると、前向きな気持ちになれるような気がしました。

○「夢や目標をもっている」項目について、肯定的な回答が多くすばらしい。自己肯定
感も高いが、もっと伸ばしてほしい。

○子どもたちはいつでもどこでもあいさつができ、気持ちがいいです。豊かな心の育成
ができていますと思います。

○よく頑張っていると思います。心の育成は大切です。

○保護者アンケートの「夢や目標に向かってがんばっている」が79%で低いと思いま
した。大きな目標でなくても目の前の小さな目標をもたせて、それに向かってがんばる
ことが、結果が出なくても大切なことだと保護者に感じてほしいと思いました。

○学校教育目標や学校スローガンの設定、児童が発信していくスタイルの委員会活動に
より、思いやりの気持ちが育つ活動の工夫ができています。

○授業の中で担任や友達から称賛されるだけでなく、友達の価値ある言動を見つけ帰
りの会で伝え合ったり、「スマイルカード」を廊下に掲示することで、全校児童の目に触れ
たりと、子どもたちが「ほめ言葉のシャワー」を浴びることで、自分の居場所に安心・
満足したり、自分自身の自己有用感アップにつながったりしていくのがよく分かりま
す。

○高学年になるにつれ、「自分のしたいこと」が人の役に立ったという経験は子どもの自
信にもつながり、自分の夢や目標に向けて頑張る気持ちも増すと思います。そのがんば
りを教職員や友達・保護者・地域の中で褒められたり、認められたりすることが大事な
んだとつくづく思いました。

○今年度の新しい取り組みとして「周りの人を笑顔にする方法」を考えたり、「自分でめ
あてをたてて自主勉強」したり、「だまって掃除」をしたりすることが継続されることを
願っています。

③ 健やかな体の育成

○「好き嫌いなく食べようと努力している」の児童肯定的意見99%。親からはそう見
えなくとも、子どもは食べようと努力しているのです！

○コロナ禍での取り組みは難しいと思いますが、外遊び交え、うまく成長していけたら
と思います。

○「黙働清掃」は、低年齢層にも感染者の多い新型コロナ第6波にも有効だと思う。こ
の2年ほどは体を丈夫にすることより、病気にならないことが求められているような気
がします。

○どの項目も肯定的な回答が多くよい。給食は栄養バランス等児童の体を考え作られて
いるので、好き嫌いなく食べるよう努力しているのは大変よい。

○当たり前のことが当たり前にできることは、とても素晴らしいことだと思います。

○体力づくりはコロナ禍で体を動かす機会がなかったと思います。

○外遊びのすすめで、先生が子どもと一緒に遊ぶというのは子どもにとってとてもうれしいことだと思います。

○高学年がよいモデルとなり、黙働清掃や廊下歩行については、徹底している。

○「げんきアップ」は、より主体的に児童が自分の生活を見直すきっかけになるものに改善されている。

○「当たり前のことが当たり前にできる」は、大人でも難しいことですが、「黙働清掃」「だまって集合」「廊下や道路のきまり」をみんなで守ったり、自分で目標をもって「メディアコントロール『げんきアップ週間』」に取り組んでいるのは素晴らしいと思います。

○「外遊び」が子どもたちの生活の中から消えかかっているように思いますが、「一日一回の外遊び」を学校の中で、先生と一緒に取り組むことで、よりよい習慣がついてきているのだと思います。

④ 信頼される学校

○「楽しく学校に通うことができている」は素晴らしい。児童の否定的回答13%が気になるところではありますが、ほとんどの子どもが学校は楽しいと思っているのはすごいです。

○やはり日比小の特徴でもある地域密着型の教育（協働）がひとつ大きなポイントになると思います。今後ともよろしくお願いします。

○保護者や地域に学校を知ってもらい関心をもってもらうため、学校だより「ひびき灘」の発行は欠かせないものと思います。写真を多く使用し、文字にも工夫を凝らして、ちょっと読んでみようかと思わせる仕上がりになっているような気がします。

○地域との連携については、地域にある各団体からのアンケートをとってはどうか。（保護者のみでなく）コミュニティに依頼してもらえば、配布、集計の手伝いはできると思う。

○学校と家庭の連携ができていることで、保護者としては安心して学校へ行かせていると思います。

○保護者との関係も良好でよかったです。

○地区との関係を見直す件は賛成です。

○見やすく分かりやすい学校だよりが発信されて、子どもたちの様子が地域にも届いており、信頼される学校であると感じます。

○実効性のある訓練をしている。

○いじめを見逃さない姿勢で対応していくことができている。

○家庭との連携は密にできるように連携の仕方を見直しする。

○「学校だより」が町内会の回覧板で回ってくるのをいつも楽しみにしています。コロ

ナ禍で大変な時期でありながら、学校の教育方針が保護者や地域にも伝わってきます。特に子どもたちの日々の頑張りや先生方の子どもを見つめる目の温かさが感じられ、こちらでも元気をもらってうれしくなります。

○保護者や地域・中学校区の連携によって、教育活動がより活性化されていることもすばらしいと思います。「子どもは地域の宝」ですが、「学校も先生も地域の宝」です。

⑤ 協働し高め合う教職員

○子どもたちに自分を肯定し、夢をもってもらうにはまず、大人がお手本に。教職員アンケートで肯定的であったことは、日比小の児童にいい影響を与えていると思います。

○大変な状況の中、子どもたちのために一生懸命働いてくださり、ありがとうございます。

○いつも子どもたちに寄り添っていただき、ありがとうございます。

○「先生用の机」や「メンター制」など、職員間の結びつきを強くする機会を持つことで、働きがいのある職場になっていくのだと思う。

○学校はさまざまな教職員の集団だが、学校が組織として働き、教職員集団のまとまりを感じるよう努力している点が大変ありがたい。

○子どもたちの姿に先生方の協働の努力が現れていると思いますので、今後がんばってください。

○校長先生のご指導で、すばらしい先生方の集団ができていると思います。保護者の方も安心されていることでしょう。

○教職員アンケートが全て100%なので、すばらしいことだと思います。

○学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。

○教育活動の問題や悩みを気軽に話し合える職場の人間関係ができている。

○研修が日々の授業に生かされている。

○子どもが元気で頑張れるためには、先生が元気でなくてはならないと思いますが、日比小学校は、校長先生をはじめ先生方が一丸となって、教育活動を行っているということが伝わってきます。

○若手、ミドル、ベテラン教員がお互いに認め合い高め合える人間関係にあり、「日比小スタイルの校内研修」によって資質向上に努めたり、「働き方改革」も意識しながら、子どもたちとともに「ひび笑 ひび夢チャレンジ」に向かっていただけたらと思います。